静岡ふるさと通信

発行：静岡県東京事務所
☎ 03-5212-9035
✉tokyo@pref.shizuoka.lg.jp
Vol.47

今が旬！おいしさも栄養もたっぷり、冬の味覚　静岡みかん

温暖な気候に恵まれた静岡県では、秋から冬にかけて、鮮やかなオレンジ色のみかんが実ります。味わいはもちろん、産地や栄養、おいしいみかんの選び方まで知れば、いつものみかんがもっと楽しみになるはず。旬を迎えたみかんの魅力を、さまざまな角度から紹介します。

各地で育つ、個性豊かなみかん

静岡県は、浜松市の三ヶ日地域をはじめ、静岡市清水区、沼津市など、県内各地にみかんの産地が広がっています。代表的な品種の一つが、静岡市で発見された「青島温州」です。糖度が高く、コクのある濃厚な味わいが特徴で、県内の温州みかんの主力品種となっています。また、沼津市西浦地域を中心に栽培される「寿太郎温州」は、甘みと酸味がともに強く、味わいが凝縮されているのが魅力。収穫後に貯蔵することで、冬の終わりから春にかけても楽しめます。



おいしさだけじゃない！みかんの栄養

みかんは、様々な栄養を含む果物です。手軽に食べられるみかんは、日々の食生活に取り入れやすい果物。おやつや食後のデザートに、旬のおいしさを楽しんでみてはいかがでしょうか。



おいしいみかんを見分けるポイント



ただし、これらはあくまで一般的な目安。品種や熟し方によっても違いがあるため、合わせて確認してみましょう。

産地ごとの個性や栄養、選び方を知れば、みかんの魅力はさらに広がります。この冬は、静岡県で育まれたみかんのおいしさを、ぜひ味わってみてください。

静岡県人会のご紹介　～首都圏に広がる「もうひとつのふるさと」～

静岡県人会は、明治27年に徳川宗家第16代当主の家達(いえさと)公を会長として創立されました。以後、130年以上にわたり、首都圏に在住する静岡県出身者や県にゆかりのある方々が集い、会員相互の親睦と交流を深めるとともに、ふるさと静岡の発展に尽力しています。

会報誌「静岡縣人」や「静岡会だより」、メールマガジンを通じて、会員に近況や活動状況、県の話題を届けています。

離れていても、故郷静岡を思う気持ちは同じです。静岡県人会は、渡邉 光一郎会長を筆頭に、静岡への思いを分かち合える場所として活動を続けています。

普段の生活や仕事だけでは出会えない、異業種の方々、経験豊富な人生の先輩との親睦を深め、ぜひ”同郷”の方々との出会いを広げましょう。





▲昨年度の交流会

令和９年に「新年祝賀交流会」が開催されます。

新年の始まりに、特別なひとときを県人会の皆様と過ごしませんか？

県人会への入会を希望される方や「新年祝賀交流会」に御興味のある方は、お気軽にお問合せください。

■お問合せ

静岡県東京事務所まで御連絡ください。

電話番号:03-5212-9035
Eメール :tokyo@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県アンテナコーナー「おいしず」のオススメ



JR秋葉原駅徒歩2分
CHABARA内
「日本百貨店
しょくひんかん」
千代田区神田練塀町8-2
（JR高架下）

おいしず
楽天市場店

■清水から全国へ！地元愛が詰まったレトルト

今回のオススメ商品は、「ふじのくに新商品セレクション2023」金賞を受賞した「清水クラフトカリー」(有限会社西尾商店)です。

【清水を「美味しい」で笑顔に！元気に！】の合言葉のもと、個性溢れる5種類のカレーが誕生しました。レトルトパックで、ちょうど良い100gの食べ切りサイズ。味の虜になる人たちが増殖中です！

編集後記

行政連絡班で国交省、財務省の担当をしています鈴木広樹です。

新しい職場に異動して、早くも半年が経ちました。日々の業務を通じて多くの方々と出会い、人と人をつなぐ仕事の面白さと重要性を実感しているところです。

さて、先日、東京レガシーハーフマラソンに出場してきました。沿道の方々の多くの声援に後押しされ、無事にゴールした瞬間の達成感は格別なものでした。

仕事もマラソンも、一人だけの力で成し遂げられるものではありません。人との出会いや周囲の支えに感謝しながらも、これからも仕事に、そして次のマラソン大会に向け、一歩ずつ前進できるよう、駆け抜けたいと思います。



他県の仲間との集合写真
（本人左から2番目）